

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成20年1月31日(2008.1.31)

【公開番号】特開2002-182167(P2002-182167A)

【公開日】平成14年6月26日(2002.6.26)

【出願番号】特願2000-376376(P2000-376376)

【国際特許分類】

G 02 C 7/04 (2006.01)

A 61 L 27/00 (2006.01)

C 08 J 5/00 (2006.01)

G 02 B 1/04 (2006.01)

C 08 L 101/00 (2006.01)

【F I】

G 02 C 7/04

A 61 L 27/00 D

C 08 J 5/00 C E R

G 02 B 1/04

C 08 L 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月11日(2007.12.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

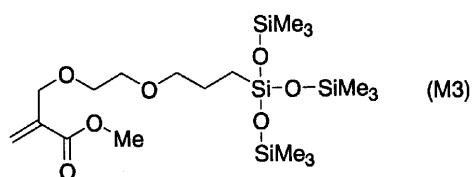
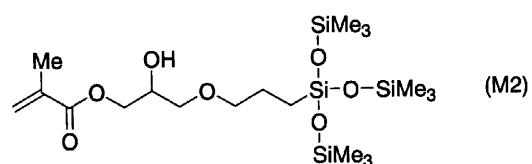
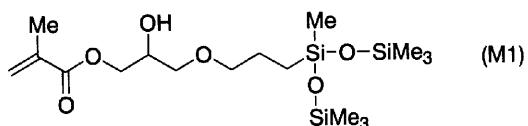
【請求項1】酸素透過係数が $6.0 \times 10^{-11}$  (cm<sup>2</sup> / sec) [mol<sub>2</sub> / (ml · hPa)] 以上でかつ弾性率が275~830 kPaであることを特徴とするプラスチック成形品。

【請求項2】ケイ素および/またはフッ素原子を含有することを特徴とする請求項1記載のプラスチック成形品。

【請求項3】前記プラスチック成形品が、下記AおよびBから少なくともなる重合体であることを特徴とする請求項2に記載のプラスチック成形品。

A : 下記式(M1)~(M3)で表される化合物からなる群から選ばれる少なくとも1種

【化1】



B : N - ビニルホルムアミドおよびN , N - ジメチルアクリルアミドから選ばれる少なくとも1種

【請求項4】 プラスチック成型品を高分子量の酸、または塩基で処理して得られることを特徴とする請求項1～3いずれかに記載のプラスチック成型品。

【請求項5】 プラスチック成型品をポリアクリル酸で処理して得られることを特徴とする請求項1～3いずれかに記載のプラスチック成型品。

【請求項6】 含水率が15%以上、60%以下であることを特徴とする請求項1～5のいずれかに記載のプラスチック成形品。

【請求項7】 請求項1～6のいずれかに記載のプラスチック成形品からなるコンタクトレンズ。